

22年度
予算を
紹介!

「どうなってるの? どう使うの?」 札幌のお財布

4月からの1年間で市がどのようにお金を使うのかを示した「22年度予算」が完成しました。

札幌市のお財布事情はとても厳しい状態が続いていますが、
その中で、市が行おうとしているまちづくりはどのようなものなのでしょうか。
今回の特集では、本年度の予算の内容と市の取り組みを紹介します。



このページに関するお問い合わせは 財政課 ☎211-2212

まずは確認！ 札幌の財政

本年度の予算を見る前に、札幌市の財政に関する素朴な疑問にお答えします。

Q1 「厳しい」といわれる市の財政状況。 具体的にはどういうこと?

A ▶ これまで通りのやり方で行政サービスを続けると、お金が足りない「収支不足」となる状況が続いています。今後も、このままでは、約120～160億の収支不足が予想されています。

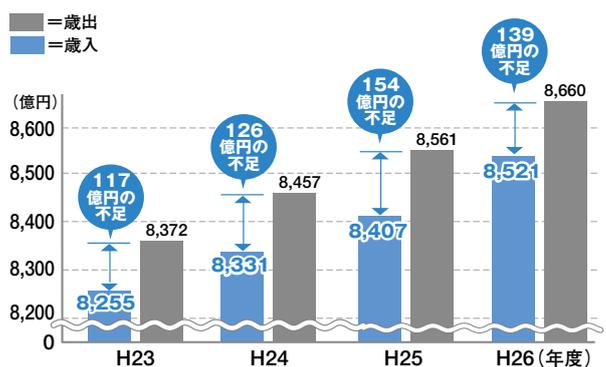
MEMO

160億円で
どのくらい?



160億円あれば小学校を8校建てるができます。

〈4年間の財政状況の予想〉



Q2 毎年の収支不足を どう解消しているの?

A ▶ 事務事業の見直しや人件費の削減、資産の売却や市民負担の見直しなど、毎年さまざまな工夫をし、解消しています。

詳しくは
左ページ

Q3 なぜお金が足りないの?

A ▶ 高齢化などで福祉関係の支出が増加する一方、景気の低迷で税金などの収入が落ち込んでいるためです。



やりたい
ことは
たくさん
あるのに……

22年度の予算はこちら！

予算は、1年間の収入と支出の見込みを表したものです。市の基本的な仕事をまとめた一般会計予算は、子ども手当の開始や生活保護費の増加などによって、前年度比+349億円の8,229億円となりました。

一般会計は
6年ぶりの
8,000億円超

一般会計 8,229億円

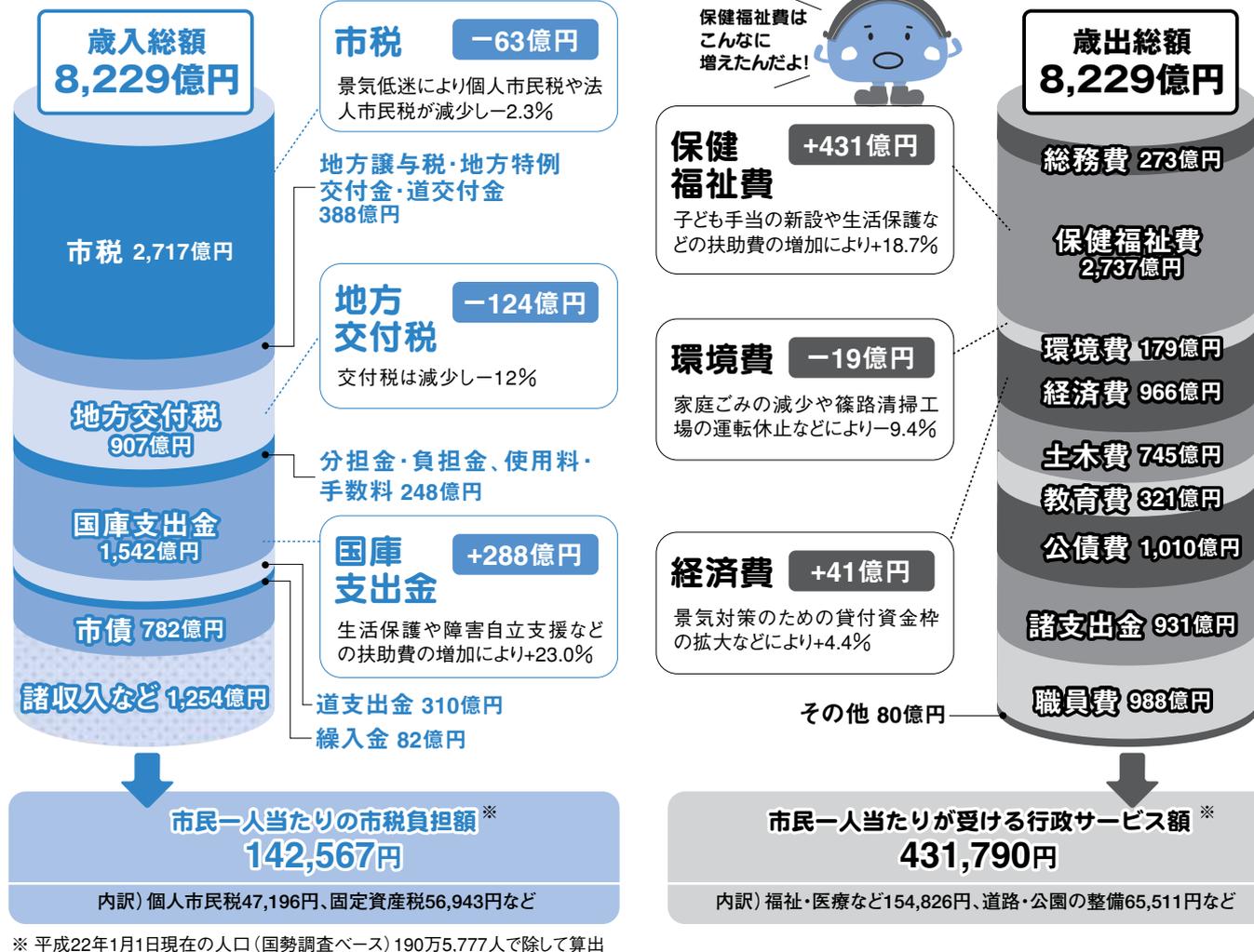
福祉や教育、除雪など市の基本的な事業の会計

特別会計 3,108億円

国民健康保険、介護保険など
一般会計とは区別を要する会計

企業会計 2,560億円

水道、地下鉄など料金収入で
運営している事業の会計



22年度予算の収支不足はどうやって解消したの？

何もしなければ、225億円の収支不足が見込まれましたが、主に以下の対応策を盛り込むことで解消しました。

主な対応策

市役所の内部努力によるもの

事務費や人件費、施設運営管理費などの節減・削減を行います。

効果額
131億円

事業の選択と集中

優先度の低い事業は見直しを行います。

効果額
15億円

次のページから
予算の具体的な
使い道だよ

サービスや手数料などの見直し

市税の減免や市営住宅の使用料などを見直します。

効果額
8億円

資産売却や基金の活用

土地の売却や基金の取り崩しなどを行います。

効果額
52億円

事業仕分けを行います

本年度は、市民の皆さんが事業の必要性などを評価する「事業仕分け」を実施。市民の皆さんと一緒に考えながら、事業の選択と集中を進めていきます。